

授業科目 教育課程論

【担当教員名】 吉田 重和	対象学年	3	対象学科	看護（養護教諭コースのみ必修選択）
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	◎	○

【概要・一般目標：GI0】

公教育（学校教育）の枠組みにおいて、数ある文化的価値の中からいかなる内容を取り上げるのか、また取り上げられた内容をいかに組織し、「なにを・いつ・だれに」教えるのか、を決定することは重要である。教育という営みを目的・内容・方法で分けたとき、この内容に当たる部分が教育課程ということになる。

本講義では教育課程の意義、編成原理、編成上の様々な要請について多角的に検討する。本講義で学んだ教育課程編成の考え方を活かすことで、受講者が、各教科の専門科目における教育課程を分析し、批判的に検討することができるようになることを目標とする。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 教育課程の意義について知る。
2. 教育課程編成の編成における歴史的・社会的・思想的背景について説明できる。
3. 教育課程編成における原理・原則を説明できる。
4. 教育課程の編成と評価について説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション／教育課程の意義	1	講義
2	近代日本の教育課程の歩み—近代学校制度と教育課程	2	講義
3	現代日本の教育課程の歩み—系統主義、経験主義	2	講義
4	現代日本の教育課程の歩み—教育の現代化、人間性重視の教育	2	講義
5	現代日本の教育課程の歩み—新学力観、生きる力、確かな学力	2	講義
6	教育課程開発の新しい動き—生活科、教育課程再編構想	3	講義
7	教育課程の思想と構造—生活と科学、領域論	3	講義
8	教育課程の思想と構造—領域論、履修原理	3	講義
9	教育課程の編成—構成要件、編成論の変遷	3	講義
10	教育課程の編成—基本原理	3	講義
11	教育課程の評価—学力評価、真正の評価	3	講義
12	社会における教育課程—近代学校批判	1	講義
13	教育課程編成における今日的課題	1	講義
14	諸外国の教育課程改革	1	講義
15	まとめ	1, 2, 3, 4	まとめ

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	新しい時代の教育課程 改訂版	田中 耕治、水原 克敏、三石 初雄 他	有斐閣	2009・1,900円＋税
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】

出席状況、ワークシートや小レポートの内容、定期試験の結果などを総合的に判断して評価する。

【履修上の留意点】